



その週刊誌を読む前に、
ちよつとこつちも見てみませんか？

最近

テレビがおかしくない？

目からうるこのテレビ裏事情をズバリお教えいたします！！

最近、テレビに対してこんなことを感じませんか？

・ある時、一人の芸能人が各放送局で大々的に取り上げられ、今まで誰も知らなかった人物が、どの番組でもよく見られるようになった。

『このタレントよく出てるな。テレビのお偉いさんにでも取り入っているのかな？』

・事件報道で、まだ事実が確定していないうちから、何となく犯人を想像させるような報道がされる。または疑惑の人をやたらとカメラが追い回す。

『あれ？結局この人、犯人じゃなかったんだ。疑って悪いことしたな。』

・〇〇が健康にいいと、ある番組で放送。するとニュースなどで『〇〇ブーム』と報道。

『テレビに乗せられて少し試してみたけど、本当に身体に良かったの？』

ここまで聞いて『ああ、言われてみればそうだけど、テレビなんて、結局そんなもんでしょ？』と、皆さんは言われるかもしれません。

でも、よく考えて下さい。本当にこれは『テレビなんて所詮…』で、済む問題なののでしょうか？さあ、皆さんの知らない【テレビの闇】についてお話しますのでお付き合い下さい。

目からウロコの情報満載ですよ。

【テレビの闇1】 電通、朝鮮系企業、創価学会とテレビのつながり。

電通という会社を皆さんはご存知ですか？

電通はテレビとスポンサーをつなぐ広告代理店です。電通は広告代理店としては日本どころか、世界最大と言われるオバケ企業です。そして、ほぼ全てのテレビ局はこの電通を通して広告収入を得ているのです。

ですから、どこのテレビ局も電通の命令には逆らえなくなっています。言い換えると、電通は全てのテレビ局を自由に操ることが出来るのです。

さあ、何かカラクリが見えてきませんか？

何故バラバラのはずのテレビ局が、同時期にある芸能人または一つの商品を持ち上げるのか？それは電通の号令の下、全テレビ局が一丸となってブームを作り上げているからに他ありません。ねらい通りの商品や芸能人が売れ、視聴率が上がる、何より、番組のネタ作りに事欠きません。テレビにとってもスポンサーにとっても、この馴れ合い作業はとても楽でうま味があります。我々はそんな電通とテレビの結託にただ踊らされているだけなのです。悔しくはありませんか？

ところで、最近、パチンコや創価学会のCMを見かけることはありませんか？

創価学会のCMは関東の人ならあまり見かけないかもしれませんが、地方では随分と頻繁に見かけられます。

実は不景気の中、テレビ局の広告収入は減少傾向にあります。そして今、テレビ局の窮状を救っているのはパチンコなどの朝鮮系企業や創価学会なのです。

そしてテレビ局はこれらの広告主さんには一切頭が上がりません。